

育ちだより (令和6年11月号)



秋晴れの空が続き、日中は過ごしやすくなりました。「育ち」では天気の良い日は戸外活動に出掛けます。色とりどりの落ち葉やさまざまな形のドングリなど、秋の自然は子どもたちにとって宝の山です。今月は、身近な自然に触れる楽しさをより感じられる月にしたいと思っています。

また、空気が冷たくなるにつれ、ポカポカとしたお日さまの暖かさをありがたく感じています。朝夕の寒暖差で風邪などをひかないよう健康管理に気をつけたいと思います。

今月16日は、特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話・座談会が開催されます。保護者さまによっては園行事等と重なり、ご希望に添えない日程になりましたことをご詫び申し上げます。

インターンシップにお応えしています。

「育ち」では、高校生のインターンシップに協力しています。(R4年度～鳳凰高校、指宿高校、加世田高校) 私たちは将来、ハンディを持った方との共生に対する理解を示す層が増えることは、環境的バリアフリーはもとより、心のバリアフリーにも繋がっていくと考えています。若い世代が、児童発達支援をはじめとする福祉に興味・関心を抱いて、「育ち」に相談してくれたことに感謝します。

今回は、将来OT・PTになりたいと夢を抱く高校生2名を受け入れ、「育ち」のセラピストの個別活動の様子を見学していただき、その後、質疑応答の時間を設け、進路実現に向け、充実した時間を過ごされました。

(8月に受け入れた生徒さんの様子については、「育ち」ホームページ9月更新記事をご参照ください)

作業療法士を目指される生徒さんは、

第3事業所にてOTの行う個別活動の見学と入試前の面接対策時点で疑問に思ったことなど多くの質問を準備されていました。ベテランOTは、その質問に丁寧に回答し、エールを送りました。

生徒さんは、非常に有意義な時間を過ごすことが出来たと感謝されていました。



理学療法士を目指される生徒さんは、

第2事業所にてPTの行う個別活動の見学と「理学療法士」の資格取得をするにあたり、その資格を活かせる働き方について、先輩PTより様々な情報を引き出していました。生徒さんは、自分自身の将来設計にとっても参考になったとの感想をいただきました。



各事業所から

第1事業所

① 今月の行事

11月25日 避難訓練(水害)

② 第1事業所では・・・

10月はハロウィン制作を行いました。折り紙をちぎって色んな大きさのおばけを作り、丸シールで目を貼ったり、クレヨンでお絵描きして仕上げました。他にも、花紙やカラーセロファンを使って仮面を作ったり、花紙を割いて、コウモリやカボチャのイラストをハサミで切ったものを貼り、ゆらゆらおばけを作ったりして楽しみました。他に季節を感じる制作として、どんぐりを使いリース作りを行いました。子どもたちから「葉っぱないの? 枝ないの?」と色んな提案がありました。

これから、戸外活動の際は、防寒着などの準備をお願いする場合があります。ご協力の程よろしくお願ひ致します。



第3事業所

① 今月の行事 11月20日 避難訓練(火災)

② 第3事業所では・・・

↑

第2事業所

① 今月の行事

11月19日 避難訓練(水害)

② 第2事業所では・・・

10月はプラ板製作でオリジナルのキーホルダーを作ったり、後半はハロウィンを取り入れた活動を行いました。子どもたちがイメージして取り組む姿が印象的でした。イメージが難しい子も「どうやったらいい?」「難しいから教えて!」と自ら援助を求め、完成させることができました。これから秋晴れの爽やかな日は公園に出かけて、遊具で身体を動かしたり、年長さんは就学に向けて通学練習や交通ルールを確認する活動などを取り入れていきたいと思っています。

動きやすい気候になったものの昼間はまだまだ暑く、園や学校によっては、運動会等の練習で沢山汗を流し疲れた様子で育ち利用となるお子さまも多かった10月でした。そんな気持ちの疲れや身体の疲れに配慮しながら、様々な活動に取り組みました。ハロウィン制作では、はじき絵の手法でかぼちゃを浮かせ、油が水をはじく様子を不思議に感じながら楽しんだり、紙コップと輪ゴムを使い、回るハロウィンお化けを制作し、クルクルとお化けを回しては支援員が驚く様子を見て、嬉しそうな表情を見せてくれました。





「育ち」では、来年度の新規利用児さんの予約募集を開始いたしました。

「育ち」では、小学校にあがった時にお子さまが少しでも困らないように早い段階で、その子に応じた支援をし、子どもも親も周りの方々も安心して生活できるように繋げていきたいと思っています。

お知り合いの方で、発達に少し気になる点があるなど悩まれている方がいらっしゃいましたら、「育ち」をご紹介下さい。ご連絡いただけましたら、いつでも見学・相談に対応いたします。

「育ち」の療育は、セラピストと保育士・児童指導員との融合

★言語聴覚士



対象：「言葉が出ない・少ない」「滑舌が気になる（例 サ行が言えない）」「コミュニケーションが苦手・集団に入りにくい」等、言葉やコミュニケーション面で困り感や疑問を抱えている方。

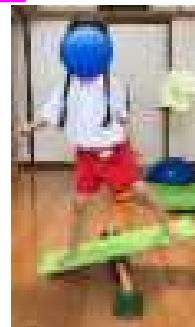
支援内容：適切な評価を行い、評価をもとに1人1人にあった支援内容を検討し、1対1の個別活動や小集団活動を通して言語面の発達をサポートしています。

個別活動では、やり取りや遊びを通して言葉の育みを促したり、細かな発音の練習等を行い発音の明瞭さの改善に向けた支援を行っています。また、小集団活動では、言葉を育む為の声掛けやお友だちとの関りを支援しています。

★理学療法士

対象：「体幹が弱い気がする」「転びやすい」「身体の使い方がぎこちない」等、身体の使い方や運動発達の疑問や不安がある方。

支援内容：1人1人の身体の使い方や運動機能を評価・観察し、その子に応じたプログラムを計画・実行していきます。



個別活動以外でも、保育士さんや言語聴覚士などの他職種とも連携を図り、運動活動の中で注意力やことば・コミュニケーションの発達の土台づくりができるよう日々連携を図り、支援をしています。

★作業療法士

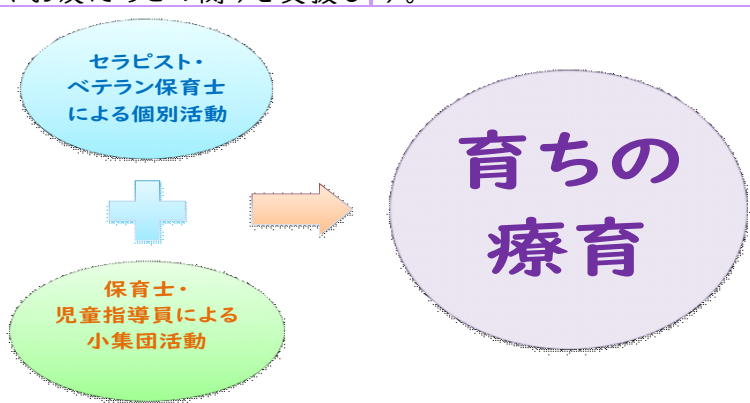
対象：「手先が不器用」「身体の使い方がぎこちない」「落ち着きがない」「気持ちの切り替えが苦手」等、身体の動かし方や情緒面で心配・困り感がある方。

支援方法：お子様が興味を持って楽しみながら取り組めるよう、遊びの中で身体の動かし方や物品の使い方等を経験し日常生活動作の向上や自身の身体をスムーズに動かすことができるよう支援しています。

定期的に評価を行い、評価結果を小集団活動へも反映しお子様一人一人に合った課題提供を行っています。集中できない、落ち着きがないお子様に対しては環境設定や課題の難易度調整を行い、集中して課題に取り組む「できた」という体験を重ね自信の向上にも繋がるように支援しています。また、就学に向けて鉛筆や箸の握り



方、学習面等のサポートも行っていきます。個別活動・小集団活動を通して、見通しを持って取り組むことや気持ちの切り替え等が難しいお子様の支援にも取り組んでいます。



★保育士・児童指導員

小集団活動を行っています。集団活動で大切な「聞く力」を養うには？集中するためには？と考えたり、自信を持

つためにも様々な活動を通して成功体験がたくさん積めるようにしています。

また、ベテラン保育士による個別活動でSSTや気持ちの切り替え方などにも力を入れています。

セラピストと保育士や児童指導員が利用児一人ひとりに対して様々な視点を持ち、『融合』していくことで、その子の持つ力を伸ばしていけるように支援しているところが「育ち」の魅力です。

保護者さまの不安やニーズに丁寧にお答えし、同じ方向を向きながらお子さまの成長と一緒に促せたらと思います。

お気軽にお電話下さい。

お問い合わせは、

育ち第1事業所(099-204-0571)

までお願い致します。